

2012 SUPER SPRINT RACE No1

イベント報告書

開催日:2012年4月14-15日
開催地:長野県大町市 大町チャレンジフィールド
天候:晴れ 30℃
参加台数:30台

レポート:NASC 事務局 中島



■NEWコースでの初開催スプリントレース (NASC監修オフロードレースコース)

- 「NASC スーパースプリントレースシリーズ」は関西から九州まで開催中のジムニーXCシリーズとコラボ開催に成ります
 コースはスキー場のゲレンデを改修し1周800Mのショートスプリント専用コース(コース幅10M)
 参加車両はジムニーのXCシリーズカテゴリーのマシン13台、オフロード専用に変更されたプロトタイプ4WD+アメリカ製バギーで争われる
 OPENクラスマシン13台が30分の2ヒート制レースを展開する。
 コースは、80%完成、まだジャンプ台ギャラリースペースの設定など一部作業は残されているが安全にレースを行えるレベルに仕上がっている様子
 第1レースはジムニーレース30分スタートからホコリの中各車一斉スタート1周1分のコースを30周心配された接触事故もなく各車スムーズに走行
 リタイヤ1台でゴールイン。
 第2レースはOPENクラスのBIG4WDのレース、予選TOPは唯一アメリカ製バギー2WDの高橋選手2番手以降はすべて4WDマシンが並ぶ
 11:00レースがスタートした、2周目からはマシンが見えないほどのホコリが立ちのぼりギャラリーも苦しい観戦をしている様子。
 30分後ゴールに入ったのは予選の1-2番の選手、このレースでもコース幅が広いので接触事故などもなく無事終了。
 第2ヒートは気温30度を越えた中でスタートした、2回目のレースは厳しくマシントラブルでリタイヤする者も増え3台以上が戦列から離脱してゴール。
 OPENクラス2ヒート目は1ヒートゴールの順番でスタートした、このレースも全コースホコリで悩まされながらも各コーナーではバトルが展開されていた
 33週目にチェッカーを受けたのは第1ヒート1~3位のマシンがゴールし順位変わらずで無事終了。
 次回は10/14第2戦開催、次回はジャンプ台が設置され本格的なオフロードコースに成る予定です

